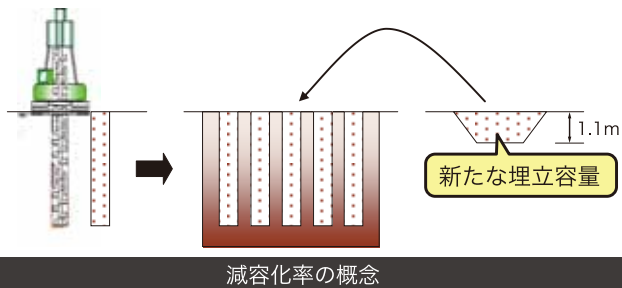


TLT機(MLT機タイプ)による減容化

工事概要

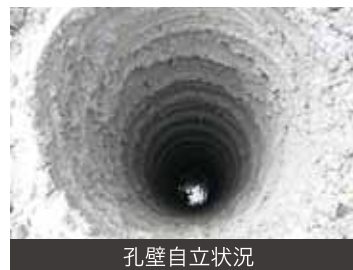
逗子市においては、今後新たに市域内に最終処分場を確保することが難しく、最終処分量の削減及び既存処分場延命化対策により既存施設の使用可能期間の延長を図ってゆく必要がありました。

当該工事は、既存最終処分場の延命化対策として、埋立てられている廃棄物をTLT工法により減容化することにより、最終処分場の延命化を図ったものです。TLT工法による減容化施工により、5mの施工深度に対し、埋立地盤面を平均1.1m下げることができ、4,500m³の新たな埋立容量を確保しました。



工事内容

- 工事名称 : 逗子市環境クリーンセンター
最終処分場延命化(転圧)工事
- 発注者 : 逗子市
- 工事場所 : 神奈川県逗子市池子4-956 逗子市一般廃棄物最終処分場内
- 埋立物 : 焼却残滓(焼却灰)、不燃物
- 工期 : 平成24年2月2日~平成25年3月21日
- 施工深度 : 5m
- 減容化量 : 4,500m³



減容化の状況

TLT機による減容化に伴い、処分場の埋立地盤面が低下したことが確認できます。

なお、工事に先立ち試験施工により締固めに伴う環境測定(騒音・振動・粉塵)を行いました。締固めに伴う影響は認められませんでした。



施工の流れ

① TLT機運搬・搬入



トレーラ(30t積)でTLT機を運搬し、処分場付近に搬入しました。

② TLT機吊り上げ



搬入路が無いいため、TLT機を60t吊ラフテレーンクレーンを用い、吊り上げ処分場内へ搬入しました。

③ TLT機組立



搬入に用いた60t吊ラフテレーンクレーンを用いて組み立てました。なお、現場条件によっては25t吊でも組み立て可能です。

④ 施工



施工では、TLT機により削孔を行い自立孔を形成し、空いた孔に周辺部から採取した廃棄物を投入して、TLT機の特製スクリュウを逆回転させながら締固めを行いました。